

M U S I C N A V I

弾いて

覚えて

調べて

図解でわかる

楽典 MUSICAL GRAMMAR の知識

小林一夫 著

ギターダイアグラム・ピアノ鍵盤イラスト入り

楽典とは、楽譜上の決め事(ルール)をまとめたものです。どんなジャンルの音楽でも楽典について理解しておくことはとても大切。本書で解説された内容を全部というよりも、必要だと思うことは是非マスターしてください。

例えば車を運転するのに交通標識を覚えるように、楽典の勉強は音楽上の約束事を一つ一つ理解して活用していく為に必要なのは言うまでもないことです。

本書は、楽譜には興味はあるが、どうもとっつきにくくてという方の為に、項目別に判りやすく解説してみました。いつもバッグの中に入れて持ち歩き、読みたいところを見ていき、実際の演奏や曲作りに役立てて頂ければ…!

それでは、Have a nice musical grammar(楽典)!!

Chapter-01	音	Sound
	音の種類	008
	楽音の3要素プラスワン「高さ・強さ・音質・音色」	009
	音の基準（A音）	010
	倍音 / Harmonic Overtone	011
Chapter-02	楽譜	Music Sheet
	五線譜 / Staff Notation	014
	音部記号 / Clef	015
	譜表 / Staff	018
	音名 / Pitch Name	019
	鍵（けん）と音名 / Key & Pitch Name	025
	音名と階名 / Pitch Name & Syllable Names	026
	変化記号（臨時記号） / Accidental Mark	028
	オクターブ / Octave	034
	異名同音 / Enharmonic	036
	固定ドと移動ド / Fixed Do & Movable Do	037
Chapter-03	音符の種類	Kind of Note
	音符と休符 / Note & Rest	042
	音符、各部の名称	045
	休符、特別な使い方と連符	047
	スラーとタイ / Slur & Tie	049
	スタッカートとテヌート / Staccato & Tenuto	051
	アーテュキュレーション / Articulation	053
	ヴィブラート / Vibrato	054
	フェルマータ / Fermata	055
Chapter-04	記譜	Notation
	記譜法の歴史	058
	楽譜の書き方	059
	楽譜を書く道具（五線紙・ペン他）	068

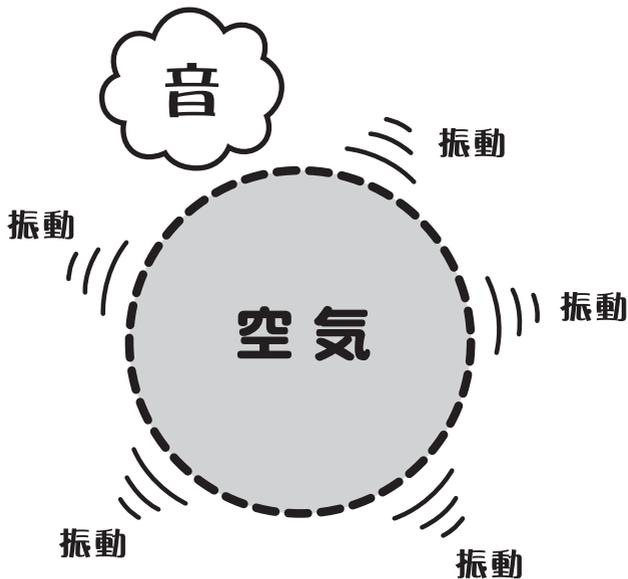
Chapter-05	音律	Temperament
	純正律と平均律 / Pure Temperament & Equal Temperament	072
	音律と音階 / Temperament & Scale	073
	音律とピタゴラス	074
Chapter-06	リズムと拍子	Rhythm & Time
	リズム / Rhythm	078
	拍と拍子 / Beat & Time	079
	小節線と小節	080
	拍子の種類	082
	シンコペーション / Syncopation	086
	拍子の変化	088
	リズムに関する記譜上の注意	089
Chapter-07	音程	Interval
	音程 / Interval	092
	度数 (ディグリー) / Degree	093
	音程の種類 (完全・長・短など) / Perfect Major & Minor...etc.	094
	音程の転回 / Inversion	099
	協和音程と不協和音程 / Consonance & Dissonance	100
Chapter-08	調、調名 (キー)	Key
	調、調名 / Key	104
	調の相互関係	105
	移調と転調 / Transposition & Modulation	109
	トナリティ (調性) / Tonality	111
	長調と短調 / Major & Minor	112
	移調楽器とコンサート・キー / Transposition Instruments & Concert Key	113
Chapter-09	音階	Scale
	音階 / Scale	116
	長音階と短音階 / Major Scale & Minor Scale	117

Chapter-10	和音	Chord
	三和音と七の和音 / Triad & 7th	124
	和音の機能 / Chord Function	125
	主要三和音と副三和音 / Primary Triad & Secondary Triad	127
	和音転回形 / Chord Inversion	128
	ハーモニー（和声）/ Harmony	129
	終止形（ケーデンス）/ Cadence	130
	コード進行（コードプログレッション）/ Chord Progression	132
	5度圏（5度サイクル）/ Circle of Fifth	133
	アルペジオ（分散和音）/ Arpeggio	134
Chapter-11	音楽の用語・記譜法	Music Term & Notation
	速さ・強さに関する表示法	136
	曲想・奏法に関する表示法（発想標語）/ Expression Mark	138
	奏法	140
	装飾音・装飾記号 / Ornament	144
	反復記号（楽譜の演奏順序）	147
Chapter-12	楽器と楽譜	Instrument & Score
	楽器名と略記	152
	ピアノ鍵盤と五線上音符	155
	ギター指板と五線上音符	156
	ベース指板と五線上音符	157
	ドラムの譜	158
付録 楽典の問題集		
	楽典の問題集	164
	解答用紙	180
	楽典の問題集解答	184
索引		Index
	索引<あ~わ>	189

Chapter-01

音 Sound

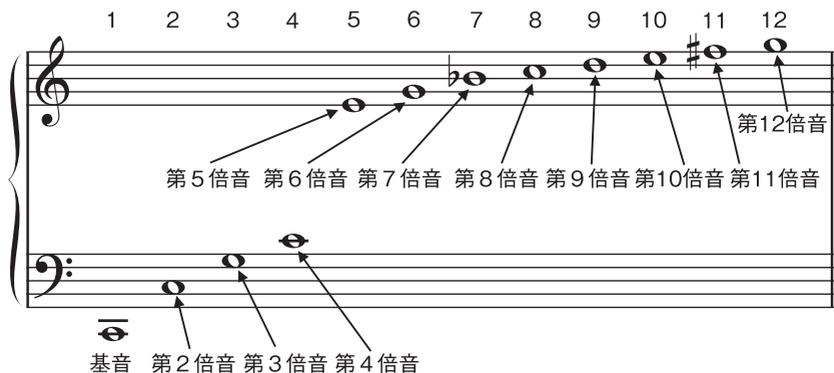
音とは空気の振動。空気を伝わる振動のことです。



倍音

Harmonic Overtone

楽器を演奏する時、目的の高さの音と同時に、その整数倍(2倍・3倍・4倍…)の振動数の音も同時に発生されます。本来の音を基音といいます。基になる音(基音)の振動数の整数倍の振動数を持つ音のことを、倍音といいます。基音の振動数が1だとすると、2倍が第2倍音、3倍が第3倍音…となります。



音部記号

Clef

音の部分(高さ)を示すので音部記号といいます。基準になる音を指定します。

現在最も多く使用されているのはト音記号。ト音記号が一般的に使用され始めたのは15世紀。

■ト音記号(高音部記号)。Gクレフ(G-clef)とも言います。

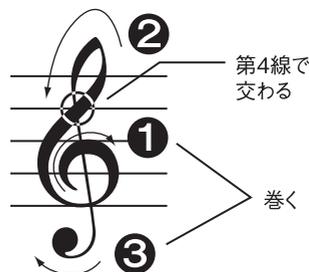


ト音記号は「G」の記号が変形したもの

アルファベットが変化して出来た記号。ソの音は英米ではG。ソ(G)の位置を見て分かるように示した記号なのです。渦の中がソ(G)になっています。

■書き方

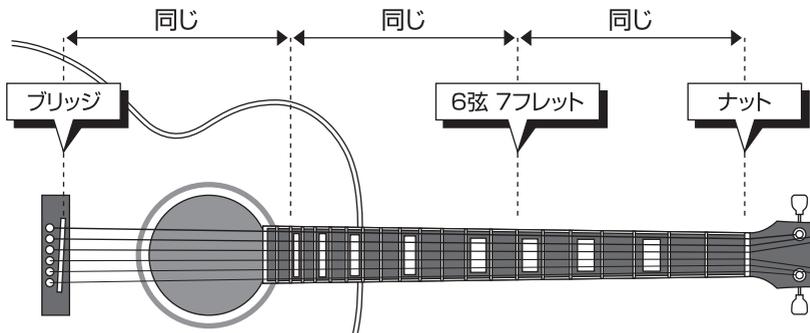
第2線を巻き、そのまま上へ運びます。第4線で交差させて下へ引きます。くると丸めて出来上がり。



音律とピタゴラス

ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ドのスケール(音階)は、ギリシャの数学者ピタゴラス(紀元前510年頃)と弟子たちによって作られたと言われています。ドから1オクターヴ上のドとを振動数比で表すと1:2。ドとソは2:3、ドとファは3:4になります。その理論が土台となり出来たのがピタゴラスのスケール(音階)。わかりやすく言うと聴こえてくる音を12の高さに分けました。

ドとソは完全5度(度数に関してはp93参照)。ギターの6弦開放のミと6弦7フレットのシも完全5度。ナットからブリッジの長さを計り、ナットから7フレットの長さも計ってみましょう。ちょうど3分の2になります。



ピタゴラスの音律の音階は、純正5度の積み重ねによる音階。ヴァイオリンは純正5度で調弦するピタゴラス音律です。



小節線と小節

■小節線

拍子を一目で分かるように、五線に対して直角に小節線を書き込み区分します。ブロックごとの境界線ですね。



■小節

小節線とその隣の小節線の間を、小節といいます。単位としては1小節。境界線で分けられた1ブロックです。2つになると2小節。3つになると3小節です。



拍子に関する演奏上の注意

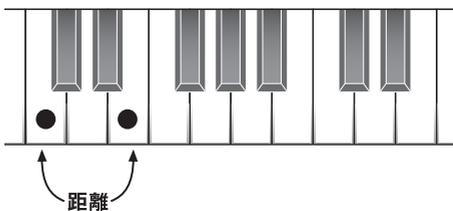
拍子には、強拍と弱拍があり、基本的に1拍目は強拍になります。ただしこの強拍というのは心理的に強くという意味で、実際に出す音を強くということではありません。基本的には、全部の音の強さを同じ強さで演奏しながら、内面的に強拍と弱拍を意識するようにして下さい。

音程

Interval

2音間の距離のことを音程といいます。

音階を元にして、度(ディグリー)という音程を示す単位で表します。



音程の種類(完全・長・短など)

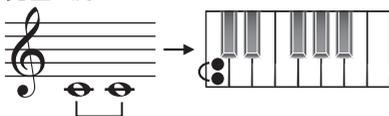
Perfect Major & Minor... etc

度数が同じでもいろいろな種類の音程が出来ます。

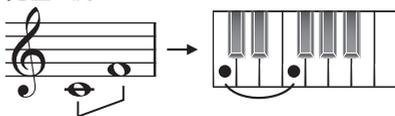
■完全音程 (Perfect)

1度 4度 5度 8度は、完全音程です。

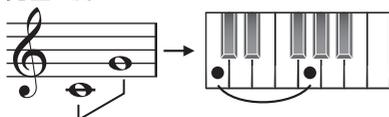
完全1度



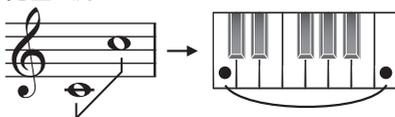
完全4度



完全5度



完全8度

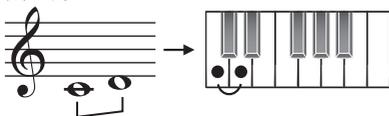


■長音程 短音程

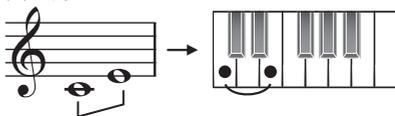
2度 3度 6度 7度 は、長音程及び短音程です。

長音程 (Major)

長2度



長3度



C音を主音(トニック)とする長音階(メジャー・スケール)の曲はハ長調(キーC)の曲といえます。

F音を主音(トニック)とする長音階(メジャー・スケール)の曲はヘ長調(キーF)の曲。G音主音(トニック)はト長調(キーG)の曲です。

ハ長調 (キーC)

全 全 半 全 全 全 全 半

ハ長調 (キーC)

ハ長調 (キーC)

ヘ長調 (キーF)

全 全 半 全 全 全 全 半

ヘ長調 (キーF)

2 3 4 5

ヘ長調 (キーF)

装飾音・装飾記号

Ornament

ピアス・ネックレスなどのアクセサリは飾り付ける為の小道具ですが、音にも装飾音があります。

ある音を装飾するために使用される音を装飾音といいます。小さい音符で示します。

装飾記号は、ある音を装飾するために使用する記号のこと。

■長前打音

音符に対して滑らかに入る装飾音です。拍の頭へ小さめに。

The image shows three pairs of musical staves illustrating long grace notes. Each pair is connected by a right-pointing arrow. The first pair is in 3/4 time, showing a quarter note with a grace note (a smaller eighth note) attached to its stem. The second pair is in 2/4 time, showing a quarter note with a grace note. The third pair is in common time (C), showing a quarter note with a grace note. In the second pair, the word 'または' (or) is written between the two staves, with an arrow pointing to the second staff, indicating an alternative notation for the grace note.

■短前打音

長前打音と同じように、音符に対して滑らかに入ります。拍の頭へ短く小さめに。

The image shows two pairs of musical staves illustrating short grace notes in common time (C). Each pair is connected by a right-pointing arrow. The first pair shows a quarter note with a short grace note (a smaller eighth note) attached to its stem. The second pair shows a quarter note with a short grace note, but the grace note is written as a beamed eighth note, also attached to the stem.



楽典の問題集

■()内に入る、適切な言葉を選択肢から選んで入れましょう。

●音とは簡単にいえば、(①)の振動です。

A:空気 B:水 C:光

●音の種類には、3タイプがあります。単振動による(②)と、振動に規則性のある(③)、物がぶつかった時に生じる(④)があります。

A:純音 B:倍音 C:楽音 D:噪音 E:軽音 F:擬音

●楽器のチューニングで、基準としてよく使われるのが(⑤)です。

A:C音 B:G音 C:A音

●本来の音(基音)の振動数の(⑥)(2倍・3倍・4倍…)の振動数を持つ音を、倍音といいます。

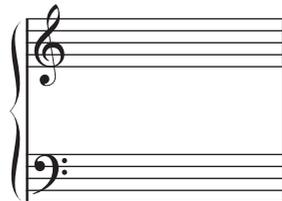
A:等倍 B:整数倍 C:3倍

●アルファベットのGが変化して出来た記号。英語でGクレフともいいます。この記号を日本語で(⑦)記号と言います。また、アルファベットのFが変化した記号で低音部記号と呼ばれるのが(⑧)記号です。ヴィオラなどに使用される記号で低～中音域を書き表わすのは八音記号です。

A:二音 B:ホ音 C:へ音 D:ト音 E:イ音 F:口音

●高音部譜表と低音部譜表を結んだものを、(⑨)と言います。ピアノの楽譜に使用されます。

A:高低譜表 B:大譜表 C:二段譜表



あ

アルト記号		017
アーテュキュレーション	Articulation	053
後拍		087
アルペジオ		134
アルコ		140

い

異名同音	Enharmonic	036
移動ド	Movable Do	037
移動ド唱法		038
色鉛筆		069
移調	Transposition	109
一時的転調		110
移調楽器	Transposition Instruments	113

う

ヴィブラート	Vibrato	054
--------	---------	-----

え

嬰記号		029
嬰種派生音		030
エンハーモニック		036
鉛筆		069
遠隔調		108

お

音質		009
音色		009
音名	Pitch Name	019, 026
オクターヴ	Octave	034
音符	Note	042, 059, 060, 061
音律	Temperament	072
音階	Scale	073, 116
音程	Interval	092
音程の転回	Inversion	099

か

楽音		008
加線		014
幹音名		019

階名	Syllable Names	027
完全音程	Perfect	094
関係調		107
確定的転調		110
下屬和音		126
き		
休符	Rest	042, 061, 062, 063
強起		081
協和音程	Consonance	100
近親調		107
基本位置		128
く		
グリッサンド		141
け		
鍵 (けん)		025
消しゴム		069
減音程	Diminished	097
ケーデンス	Cadence	130
こ		
五線		014
固定ド	Fixed Do	037
固定ド唱法		037
五線紙		068
コンサート・キー	Cocert Key	113
コード進行	Chord Progression	132
コード・プログレッション		132
5度圏	Circle of Fifth	133
5度サイクル		133
コーダ		148
さ		
32分音符		042
3拍子		083
3和音	Triad	124
サブ・ドミナント・コード		126
サブドミナント・ケーデンス		130
サブドミナント・ドミナント・ケーデンス		131
サブドミナント・マイナー・ケーデンス		130

●著者プロフィール

小林 一夫 (こばやし かずお)



1947年3月25日京都市生まれ。日大二高在学中よりギターを始める。

武蔵野音楽学院院長、樫本滋郎氏にエレクトリック・ギター、クラシック・ギター、聴音のレッスンを受ける。国立音楽大学講師大室勇一氏にアルト・サクスのレッスンを受ける。エレクトリック・ベース、キーボード、ウクレレ、ドラムス、ボーカルを独学でマスター。武蔵野音楽学院その他でギターなどを教授。バンド演奏活動をするかたわらステージ・アレンジも行う。ヤマハ音楽振興会では楽曲の編集、資料の作成・採譜。またアポー・ミュージックでは、音楽出版社の採譜・解説文等を担当。ショコット・ボイストレーニング・スクール音楽講師。現在はJOYFUL ARTSにて執筆を中心に活動。趣味は、湯巡り・絵画鑑賞・カラオケ・性格学・小鳥や虫の鳴き声鑑賞。好きな言葉は「ゆっくり行くものが、遠くまで行く！」

主な著書：『ピアノで鳥唄』（中央アート出版社）

『ピアノでうたうみんなの愛唱歌101』（中央アート出版社）

『ウクレレでうたうみんなの愛唱歌101』（中央アート出版社）

『続・ピアノでうたうみんなの愛唱歌101』（中央アート出版社）

『続・ギターでうたうみんなの愛唱歌101』（中央アート出版社）

『続・ウクレレでうたうみんなの愛唱歌101』（中央アート出版社）

『図解でわかるスケール（音階）の知識』（中央アート出版社）

『図解でわかるコード（和音）の知識』（中央アート出版社）

『ギターで歌う昭和の名曲1～5』（中央アート出版社）

『やさしいロックギターのひき方』（成美堂出版）

『やさしいロックベースのひき方』（成美堂出版）

『やさしく楽しく楽譜の読み方』（日東書院）

『やさしくたのしくギター初歩の初歩』（日東書院）

『やさしくたのしくピアノ初歩の初歩』（日東書院）

弾いて 覚えて 調べて

MS169 図解でわかる 楽典の知識

C101110(002-1.0x)

2009年9月10日 第1刷発行

2010年11月10日 第2刷発行

著者：小林 一夫

編集：藤田 哲也

表紙：あーむ巧芸

楽譜浄書：ミルテ

印刷・製本：美研プリンティング（株）



発行者：吉開 狭手臣

発行所：BAD 中央アート出版社

〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-11-4

TEL 03-3861-2861 (代表)

FAX 03-3861-2862

振替口座 = 00180-5-66324